

て食べたため罰があつたためか、それともウナギが大きくて油が濃かつたため、それがあつたのか、とにかくこのウナギを食べてお腹をこわしたことを覚えています。

それから魚の町の橋の下で大きなフナを釣り、これまた喜んでフナをぶらさげたまま家に走って帰り母に見せたことを覚えています。

今はこの川の様子も変わっています。なにぶん八十五年位も前のことですし、そのうえこの間、長崎は大洪水に見舞われ川の様子が変わっています。しかし、あのあたりでウナギをつかまえた、あのあたりでフナを釣ったなどと幼いころの思い出はつきません。

私はゴム鉄砲が上手でした。庭にスズメやメジロなどが飛んで来るとよく打っていたものでした。家の向かい側に黒住教の教会所がありました。そこに大きな桐の木があり、夏にはセミがたくさんとまっています。それをゴム鉄砲で打ち落とすのです。私はゴム鉄砲を真っ直ぐに持つのではなく、上下反対にして下からすくいあげるようにして打っていたものでした。

父は教育に熱心で子供たちはみな幼稚園からやっていたいただきました。小学校は勝山小学校といい、家から十五分くらいの所でした。

その当時成績は甲乙丙丁とつけられていました。一年生のときは甲は一つもなく、丁があつたのです。